

●12月上映作品について

「天のしずく」

～辰巳芳子・いのちのスープ～」

本日は「天のしずく」高知上映会にご参加いただきありがとうございます。この映画は、お客様のリクエストが多くあることから上映の検討を始めさせていただきました。私・ゴトゴトシネマは、恥ずかしながら辰巳さんのことをよく存じ上げていなかったのですが、妻は著書を愛読しており、我が家にも使い古された辰巳さんのレシビ本がありました。

視聴の際には、辰巳さんの活動のひとつひとつに傾かされ、一言一言が体に染み込んでくるような感覚を覚えました。私たちゴトゴトシネマ夫妻は、以前関東で「大地を守る会」という有機・オーガニックの食品生活雑貨を取り扱う団体に所属し、働いておりました。「食べ物なるべく国産で」、「自然環境に負荷をかけない有機栽培のもの」、「環境に大きな影響を与える原発と農、生命は共存できない」。辰巳さんの発言・哲学はすべて、我々が日々感じ・考えてきたことと見事に合致していました。



この映画は「食はいのち」と断言し切る辰巳さんの、これら哲学に基づく実践活動を真摯に追ったドキュメンタリーです。児童虐待、過重労働による自殺など、人を人として思いやれない現代社会を憂い、辰巳さんは「日本人は底が抜けた」と表現します。そして、それらも我々が「食」を大切にすることを手放した結果だと説きます。辰巳さんの丁寧な手仕事の数々、丁寧な暮らしぶりの様子から、人間が本当に心豊かに幸せに生きるために大切にしたいといけぬものは何なのかを、一緒に見つめていきたいと思えます。

●今後の上映作品について

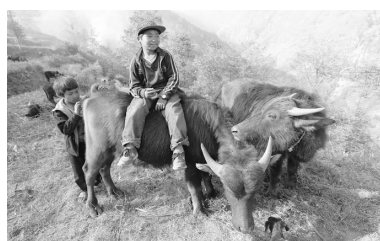
「世界でいちばん美しい村」

1月13日～14日@メフィストフェレス

「猫が教えてくれたこと」

3月3～4日@メフィストフェレス

先日「世界でいちばん美しい村」のサンプルをあらためて視聴してみたのですが、良かったですね、本当に素敵な作品です。この間地震以降のネパールの子どもたちを、文房具などの寄付で支援されているヒマラヤンオーガニックさんとお知り合いになり、いろいろお話させてもらいました。とても印象的だったのが、「ネパールの人たちは貧しいと言われているが、とても幸せそうに生きています」というお話。「ただ、生活のことを1日中しているだけなのに、どうしてあんなに幸せそうなのかと思います」と話されています。被災した村の人たちのドキュメンタリーなのに、その助け合って暮らす姿に、あらためて私たちの社会的殺伐とした現状に思いを巡らせてしまいます。むしろ、悲劇的なのは我々の方なのではないかと…。この素敵な村人たちの姿を、余計な演出を行わず、見事に美しい映像に仕上げた監督・写真家の石川梵さんも同じ思いで取り組まれたのではないかと思います。2018年の年明け、ぜひこの心温まる作品をご覧ください。



家畜と仲良く暮らす村の少年。

3月はトルコ・イスタンブールに暮らす街猫と猫を愛して優しく見守る市井の人たちを追った異色のドキュメンタリー「猫が教えてくれたこと」を上映します。あまりおおっぴらに言うておりませんが、実はゴトゴトは無類の猫好きです。小学2年生の時に拾ってきたニャミーにはじまり、独身生活をともに過ごしたブギーまで、数々の猫を拾い、あるときは親に反対され、泣く泣く捨てに行かされたりしつつ人生を過ごしてきました。世知辛い社会生活を強いられる我々人間よりも、この映画に登場する猫たちのなんと幸せそうなか。引き続き、生き方のお手本を皆で猫に学びましょうっ！

gotogoto cinema

上映詳細はチラシ、HP、FBにて



ゴトゴトシネマ誕生のきっかけとなった桑尾の民話話し合いの様子。

●ゴトシネマヒストリー vol. 4
土佐山桑尾公民館シネマ企画される。

2012年にスクリーンを自作して「お家でゴトゴトシネマ」を楽しみ始めてから、2014年の土佐山桑尾公民館シネマ開催までの2年の歳月、ゴトゴトはひたすら、むさぼるように映画を見続けました。ブランクの期間見てなかった上映作から学生の頃はまったミニシアター系、そして小さい頃見たテレビロードショー系などなど。大画面で見る映画は、胸のすくような感覚をもたらし、とつてもピュアな映画鑑賞ライフを堪能させていただきました。

そんなこんな土佐山ライフ。桑尾公民館シネマ開催のきっかけは桑尾公民館で行われた「地域活性化」のためのミーティング。元区長、現区長、公民館長、ジモティーのじっちゃんばあちゃん、新参者の移住者などが少数精鋭で一同に介し、そのミーティングは行われました。なんかアイデア募集とのことなので、ゴトゴトもいろいろと考えていきました。公民館モーション、名瀑・山姥の滝での寒中水泳…。桑尾公民館シネマはその中のアイデアのひとつとして思いつきました。

最初は地元元のじっちゃんばあちゃんに来てもらって、昔の地域の賑わいを取り戻してもらおう、そんな感じをイメージしてました。古き良き時代の娯楽の王様・映画館ですね。聞けば、昔は小学校の体育館などで上映会が開催され、たくさんの方が一緒に映画を観て楽しんでたとか。だから、1発目を選んでるのは誰もが知ってる往年の大スター、その月なくなった日本の大俳優・高倉健主演の「網走番外地」。何回か自宅から映写セット一式を持ち込んでリハを行い、いよいよ桑尾公民館シネマⅡゴトゴトシネマが産声を上げてしまったのでした。